

是はよしとするこ
ど。非はあらざるこ
と。

本能寺における明智
光秀の謀反は、信長に
とつては想像を絶する
恐怖の出来事であつ
た。

信長 むほんはだれ
か

蘭丸 明智光秀にご
ざります

信長 是非に及ばず
（※注 あやつのむほん
なら、今更ええか悪いか、
どうのこうの言つてもはじ
まらない）

信長は、攻めてくる
一万五千の明智軍勢に
弓を射り、刀をふるつ
て戦い、さいごは

「俺は思うぞんぶん

生きて」「悔いはな
い」。

そうして、燃えさか
る炎の中で自刃して果
てた。（NHKテレビ映
像）

おそわれた家臣団は
ひとたまりもなく、皆
壮絶な討ち死にであつ
た。

講談師は見てきた
ようなウソを言うが、

「是非もない」などと
だれがそんな言葉をき
いたというのか？

本能寺の裏口から逃
げのびた女中がきいた
と「信長公記」にある

が、命からがら逃げる
オナゴが矢弾の飛びか
う信長の近くにいてき
いたとは信じがたい。

◇ ◇

なによりもあの傍
若無人、カンシヤク玉
の信長にそのような落
ち着き払った行動が出
来たはずがなからう。

▽比叡山を焼き打ち、僧侶
はじめオナゴまで数千人虐
殺

弁護士日記

光秀のくそつたれめが…

ばかやろう！

美和 勇夫

▽長島一揆一万人を火あぶ
りにして処刑

▽朝倉義景、浅井長政の生
首を宴会の席にさらす

数え上げればざりが
ない暴虐ぶりであった。
そういう男は、自分
がやられる立場になれ

ば必ず見苦しくうらた
えるものである。

「光秀のくそつたれ
めが、ばかやろう！」
そういつて自制心を
失い、わななき、恐怖
のあまり失禁して大小
をたれ流したことだつ

て十分考えられる。
（それでは小説やドラマに
ならないだけである）

昭和三十五年、時の
社会党委員長の浅沼稻
次郎が二千人もいた東
京日比谷の公会堂で演
説中、右翼の少年山口
二矢に刺されたがこの
時（今も映像が残ってお
り、浅沼は言葉を発し

あつた相原なおふみに
刺された。

その時、「板垣死す
とも自由は死せず」と
叫んだ言葉は有名であ
るが、そんなセリフは
刺した犯人の相原本人
さえ聞いてはいない。
（※注 裁判での本人の証
言である）

さてテレビの「官兵
衛」、どこまで本当で
どろが作り話か、おお
げさな脚本のウソに引
きづられて、おもしろ
いテレビ物語にしあ
がっている。

ていない。

同じ年の七月、岸信
介首相（安倍の母方の祖
父）は、安保条約騒動
のあと首相官邸のパ
ーティーのあと、かえり
がけ暴漢におそわれ尻
をさされた。

「岸は死すとも安保
は死せず」とは言つて
いない。

「痛い！あの男だ」
目撃者がいると真相はこ
ういうことになる。

◇ ◇

◇ ◇